

# 【卒業生の声を聞く会】を実施しました

令和4年6月14日(火)、社会で活躍している卒業生を招いて、「卒業生の声を聞く会」を実施しました。

自身の経験から、高校生のうちにやっておいた方がいいことや心の在り方や今できることをすることの重要性などを各先輩方が熱く語って下さいました。

生徒たちの感想では、「今の自分に出来る事は何か。足りないことは何か。」ということを考える有意義な時間だったとの感想が聞かれました。今回の卒業生の声を、これからの進路決定に大いに役立ててほしいです。



R2電気科卒業 JFE スチール(株) 谷口 心笑さん  
入社前は、現場の仕事はないだろうと思っていたが、現場でドロドロになって働いている。高校時代にしておいた方がいいことは、一般常識を身につけておくこと。自学自習ができること。入社試験の時の面接が最も重要。社会人になったら責任が生じ、大きいお金を扱うので自分で管理できるように。交友関係もいろいろな人がいるので、すぐに人を信用しないこと。

## 4人の卒業生からのコメント



H31国マル卒業よつば薬局 眞方 舞子さん  
接客業務なので、敬語やクッション言葉、気配りのできる言葉遣いをもっと勉強しておけばよかった。本を読んで語彙力をつけておけばよかった。先輩のマネをしていたら自然に身につく。



H29国マル科卒業日本製鉄(株) 橋口 結希さん  
就職先を選ぶ際に、自分の科にとらわれすぎず選ぶこと。将来の不安は当たり前で、入ったら慣れるので大丈夫。他県(関西)に行ったら方言も通じないので環境への適応力も必要。



H27普通科卒業 宮崎第一高校 花車 泰平さん  
「苦勞を沢山してください」それが必ず、あなたの肥やりに自分で環境をつくる。当たり前のことを当たり前にする。